

平成 2 5 年度 第 2 回学校関係者評価報告書

鳥取県立米子高等学校
 学校長 末次 壽也

評価日	平成 2 6 年 1 月 1 7 日 (金)	
評 価 ・ 提 言		学校の所見・改善策等
1. 今年度の自己評価について (1) 重点目標の達成状況 ① 確かな学力の育成 [学習成果発表会について (参観後)] ・発表が堂々としていて、よく構成されたプレゼンテーションだった。1 年が自分を見つめ、そこから自分のキャリアを考える。2 年がテーマに従って、仮説・検証・考察の構成で自分の考えを発表する。3 年が自分の進路に即したテーマを設定をして研究発表する。その段階を踏んで成長する姿がよくわかったし、素晴らしい取り組みだった。 [授業改善について] ・授業アンケートについては興味を持たせる授業の項目で 1 年生の評価が低いのが目にとまった。米子高校の生徒は興味を持ったことにはとても集中できるので、もっと興味を引き出す工夫がいるかもしれない。 ② 豊かな人間性の育成 [遅刻者数削減について] ・夏以降に数が増加したことは残念だが、常習者の理由を聞くなり、指導の工夫が必要ではないか。 ③ 自己実現のための進路指導の充実 [進路指導の充実について] ・今年も国公立四大・短大、私立難関大学など実績が出ており取り組みの定着が見られる。テーマ学習の発表が自分の進路と結びついていて、これを基に面接などに臨むことで、生徒の取り組みが進路実現に実を結んでいる。 ④ 地域との連携による学校づくり [文化部活動のアピールについて] ・中海夕暮れコンサート、ハイホットダンスなど活発な取り組みが目出っている。他団体まで巻き込んでイベントを行うことはまさに素晴らしい地域貢献であり高く評価したい。		1 年から 3 年までが段階を踏んで発表する初の形式で行ったが、関わった教員がよく取り組んで、非常によいものに仕上がった。今後はさらに充実したものが発表できるよう改善していきたい。 学習理論研修に基づいた公開授業をいくつか設定し、授業改善自体の取り組みは進みつつある。 指導部主任の突然の交代で指導の徹底不足だった。今までの指導を再度徹底して成果が現れてきた。 来年はテーマ学習が 2 単位になるので、さらに一層多面的な取り組みをさせたいと考えている。 吹奏楽部も地域のイベントに参加しているし、総合美術展、漫画の研修会など地域と絡んだ取り組みは今後も力を入れたい。

評 価 ・ 提 言	学校の所見・改善策等
(2) 説明公表について [評価全般について] ・米子高校の良さは、体験的なものも含めいろいろな学習ができること、いろいろな資格が取れること、生徒が明るく元気に部活などの活動することなどだろう。そこを重要なベースとしてこれからも取り組んでもらいたい。 2. 今年度の県立学校学校裁量予算による特色ある学校運営の状況について ・福祉、保育、体育など体験的な学習が行えることはこの学校の魅力になっている。 ・学習成果発表会、総合美術展、ハイホットダンスなどは地域への発信や貢献の点で素晴らしい取り組みである。 3. 取り組み改善のための提言 [バスの積み残しについて] ・冬場のバスの積み残しの発生について、対策を検討した上で、何か働きかけをしていくことは出来ないのか。	系列のあり方や教育課程の見直しなど、今後も生徒の実態に合った改善に取り組んでいきたい。 重点目標に合わせて、事業を整理したが、それぞれの項目で独自事業は重要な柱になっている。 昨年同様、乗車指導や出席扱いの対応はしている。1便増便もあったので、さらに働きかけをするなら統計などを取る必要がある。